

大塚区だより

大塚区自主防災訓練開催

9月2日(日)8時30分より、区民101名が参加して災害(地震)を想定した大塚区避難所運営自主防災訓練が実施されました。大型台風が近づく中、大勢の区民の皆様が参加され、まず大塚区避難場所(大塚児童館)に集まり、自主防災組織が各班に分かれ、大塚区災害対策本部運営訓練、情報収集・伝達訓練、避難訓練・避難誘導訓練、要援護者支援訓練、消火訓練、応急手当訓練、給食訓練が行なわれました。特に今回は、災害時での要支援者の安否確認訓練や車いすでの避難訓練など従来行われなかった訓練も実施しました。

広域避難の運営を円滑に行うための行政区での自主防災訓練は、各自の任務分担の重要性を再確認する訓練でもありました。近年の気候変動により、これまでにない頻度あるいは規模での災害が全国的に発生する中、多くの方が避難所生活を余儀なくされている現状があることから、身近な問題として避難所運営の大切さが改めて認識させられました。

消防団、防災指導員、自主防災組織任務分担者、関係団体役員またご協力頂きました区民の皆様ありがとうございました。



雨模様の中、平成30年度地区自治会自主防災訓練が開催されました。

消火器の取扱説明と実際の消火器訓練。

三角巾の使い方



段ボールによるプライベート空間の確保



毛布を使用した応急担架作りと搬送方法



炊き出し訓練



第3回組長会議開催

第3回組長会議が8月18日(土)午後7時から大塚児童館で開催されました。大塚区自主防災訓練、後期区費の集金、秋葉神社祭典および奉納演芸大会の説明と協力依頼の後、質疑応答が行われました。



大塚区地域安全活動の表彰

9月7日、大塚自治区の永年に亘る地域安全活動が評価され、神奈川県防犯協会連合会より表彰されました。当日は斎藤区長が横浜市中区青少年会館にて感謝状を拝受いたしました。



ミラー設置と道路補修のご案内



町に要望していましたミラーの設置と道路の補修が終了いたしました。道路補修、側溝の詰まりなどお気づきの場所がありましたら役員までご連絡ください。

10月の予定

- 10月14日(日):町民みなふれあい体育大会
- 10月20日(土):秋葉神社祭典及び奉納演芸大会
- 10月26日(金):赤い羽根・年末たすけあい募金
- 10月28日(日):駅伝結団式

迫りくる災害に備えてNo.6 防災士 斎藤増雄

災害列島に住む心構え

西日本豪雨災害、台風21号による災害、そして北海道を襲った地震、災害を忘れる暇もなく、次の災害が襲う時代に入ったという感覚を多くの人を持ったことと思います。

どう備えておけばよいのでしょうか。9月1日に、気象協会が20代から40代の女性に行ったアンケート結果が新聞で報道されました。食料の備蓄が、80%の人が出来ていないという状況でした。

皆さんのご家庭では、備えは万全でしょうか? 今回の地震でも、あらためて水や電気の問題がクローズアップされていますが、思っているだけでは、備えにはなりません。

スーパーに長蛇の列が出来ましたが、非常用持ち出し袋の点検や、備蓄食料飲料水、停電への備えなど見直しをしてみたいかがでしょうか。

次回は、非常用持ち出し袋の中身や備蓄食料や備蓄品について考えてみましょう。

大塚区後期区費の集金が終了いたしました。平成30年度後期の総戸数は521戸で、区費の総額は937,800円でした。ご協力ありがとうございました。

コラム:絶滅危惧種

絶滅危惧種とは、絶滅が危惧されており、近い将来この地球上から存在しなくなってしまう可能性がある動物種を指す言葉です。長い地球の歴史の中で、これは自然と繰り返されてきた現象ですが、近年では人類が人為的にしかも加速度的にそれを推し進めていることが、生態系を大きく崩して大問題となっています。国際自然保護連合(IUCN)は絶滅危惧種のリスト「レッドリスト(The IUCN Red List of Threatened Species)」を作り、地球の生態系や生物種を保全することで急激な環境変化を防ごうとしています。具体的には、乱獲しない、外来種を入れない、環境破壊を防ぐ、地球温暖化を止めるなど。個人レベルではゴミを捨てない、簡単な気持ちで外来種を飼わない、捨てないことが重要です。一度失われた種を復活させることは出来ません。

さて、犬なども洋犬やミックス犬が流行っていますが、日本古来の犬種は減っています。猫も日本の古来種である三毛猫が少なくなっています。ちなみに三毛猫はほとんどがメスでオスは減多に産まれません。これは遺伝子の問題で、オレンジ色の遺伝子に問題があり生まれたとしても繁殖能力がないものが大半を占めます。正常な繁殖能力のあるオスの三毛猫は世界でも貴重な動物の一つです。